

製品名: SYT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18523**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	SS18
別名	SS18; SSXT; SYT; Protein SSXT; Protein SYT; Synovial sarcoma translocated to X chromosome protein
遺伝子 ID	6760.0
SwissProt ID	Q15532
免疫原	抗血清はヒト SSXT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

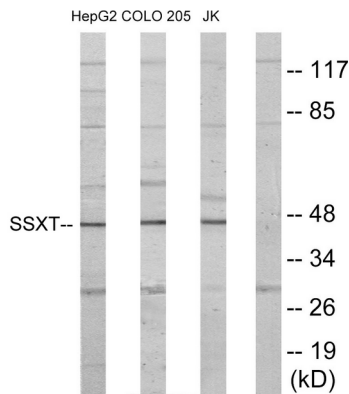
背景

疾患: SS18 に関連する染色体異常が滑膜肉腫の原因となる可能性がある。転座 t(X;18)(p11.2;q11.2)。この転座は滑膜肉腫の 80%以

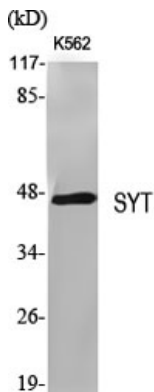
上に特異的に認められる。融合遺伝子 SSXT-SSX1 または SSXT-SSX2 が、おそらく形質転換活性に関与している。切断点の位置における異質性が生じる可能性がある（低頻度）。,類似性: SS18 ファミリーに属する。組織特異性: かなり普遍的に発現する。滑膜肉腫および他のヒト細胞株で発現する。融合遺伝子 SSXT-SSX1 および SSXT-SSX2 は、滑膜肉腫でのみ発現する。疾患: SS18 に関連する染色体異常が滑膜肉腫の原因となる可能性がある。転座 t(X;18)(p11.2;q11.2)。この転座は滑膜肉腫の 80%以上に特異的に認められる。融合遺伝子 SSXT-SSX1 または SSXT-SSX2 が、おそらく形質転換活性に関与していると考えられる。切断点の位置には異質性が生じる可能性がある（頻度は低い）。,類似性: SS18 ファミリーに属する。組織特異性: かなり普遍的に発現する。滑膜肉腫および他のヒト細胞株で発現する。融合遺伝子 SSXT-SSX1 および SSXT-SSX2 は、滑膜肉腫でのみ発現する。,

研究分野

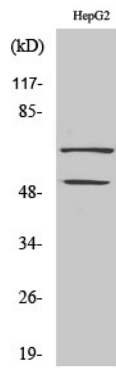
画像データ



HepG2、Jurkat、および COLO205 細胞のライセートを SSXT 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SYT ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



SYT ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析